

イスラエル経済月報（2016年6月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 松本理恵）

<目次>

主要経済指標.....	2
当地報道（経済関連）6月.....	8
日本-イスラエル 経済関係.....	10
展示会・国際会議の今後の予定.....	12

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

主要経済指標

- 7日 2016年3月の平均給与は月10,081シエケルに。(中央統計局)
- 7日 2016年5月末の外貨準備高は965億ドル,前月比で7.8億ドル増加。(中央銀行)
- 13日 2016年5月期の物品輸入総額は238億シエケル,物品輸出総額は164億シエケル,貿易赤字は計74億シエケル(中央統計局)
- 15日 2016年5月期の消費者物価指数は0.3%上昇。(中央統計局)
- 23日 2016年5月期の失業率,さらに低下して4.8%。減少傾向続く。(中央統計局)
- 27日 標準金利0.1%で据え置き。2015年3月以来の歴史的に低金利が続く。(中央銀行)
- 30日 7月のガソリン価格は,リッター5.96NISに(前月比0.05シエケル低)。

1. 経済成長率

- 2016年第一四半期の成長率,1.3%に上方修正

中央統計局は,2016年第一四半期の成長率について,当初推計値の0.8%を上回る1.3%であったとの推計値を発表した。

新たな推計値は,当初の値を上回るものではあるが,昨年度第四四半期の3.4%からは大幅に低下しており,また政府の成長予測を下回る値である。

中央統計局によれば,上方修正の主な理由は,個人消費が4.8%上昇していたことと,固定資産投資が16.2%と大幅に伸びたことにある。低成長の主な理由は,第一四半期における財・サービスの輸出の大幅な低下である。



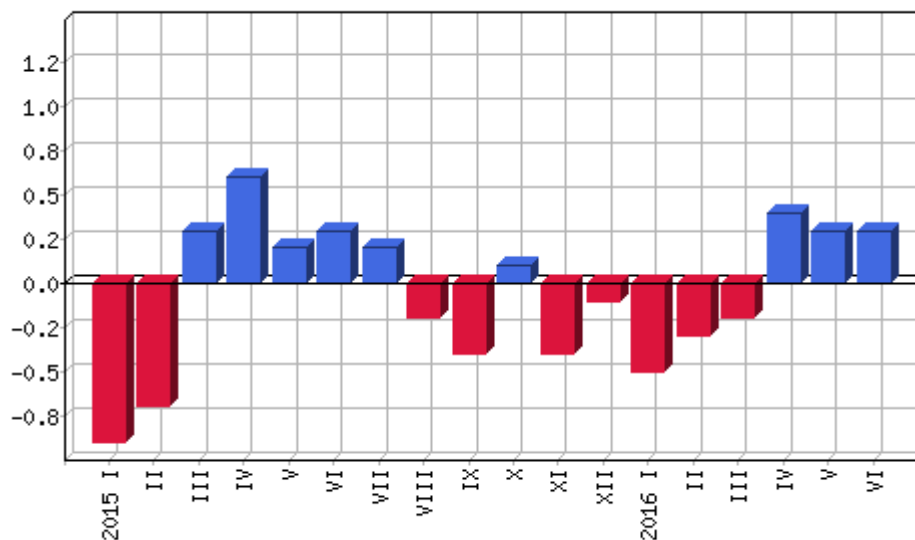
2. CPI（消費者物価指数）

● 連続 5 カ月低下の後，2 カ月続けて上昇

中央統計局の発表によれば，イスラエルの消費者物価指数は，5 月期に 0.3% 上昇した。4 月期には 0.4% 上昇しており，2 カ月連続での上昇だ。それまでは 5 カ月連続低下していた。5 月期の上昇は，アナリストによる事前の予想と一致していた。

世界の原油価格の下落に引きずられる形で，過去 12 カ月で CPI は 0.8% 低下。2016 年 1～5 月では 3% 低下している。原油価格は回復基調にあり，CPI は 6 月も上昇が見込まれるが，現状は政府のインフレターゲット（1～3%）を大きく下回っている。

5 月期の主な価格上昇として，生果物（12%），タバコ・葉巻（1.9%）がある。また，主な価格低下として，タマネギ（17.4%），トマト（5%）がある。また，CPI と別途公表された住宅価格指数は 1.2% 上昇。過去 12 カ月では 7.8% 低下している。



（グラフ出典：イスラエル中央銀行）

※グラフは 6 月期 CPI も含む

3. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

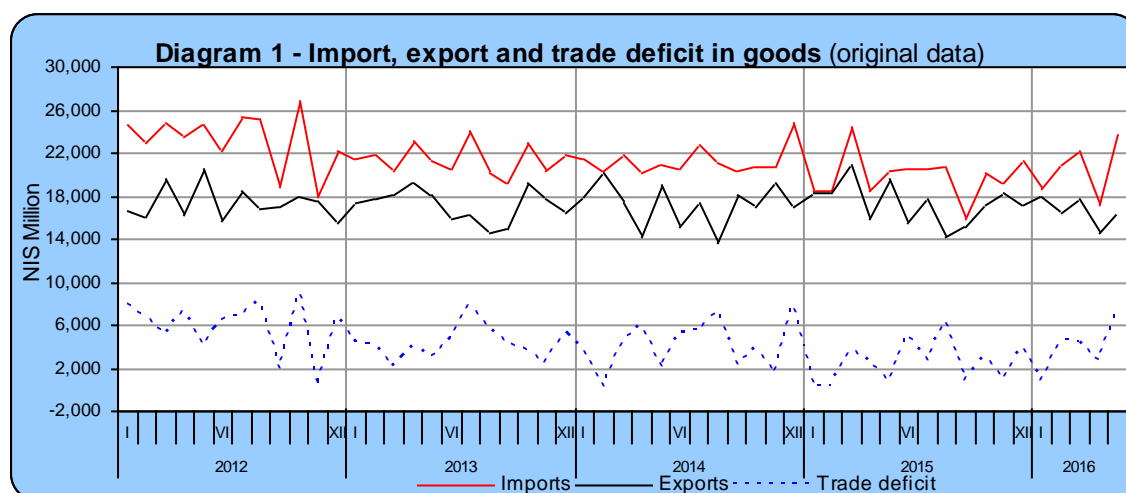
- 2016年5月期の貿易赤字（物品のみ）は74億シェケル

中央統計局が発表した2016年3月期の物品輸入総額（ダイヤ及び燃料等含む）は238億シェケル、物品輸出総額は164億シェケルとなった。

物品輸入（船舶、航空機、ダイヤモンドと燃料を除く）は、2015年12月期-2016年2月期の12.2%増加に続き、2016年3-5月期で、年率11.2%増加した。

物品輸出（船舶、航空機、ダイヤモンドを除く）は、2015年12月期-2016年2月期の16.5%減少に続き、2016年3-5月期で、年率16.5%減少した。

物品輸入総額（船舶、航空機、ダイヤモンドを除く）に対する、物品輸出の割合は、前年同期の86.6%に対し75.0%。1-5月期の貿易赤字は合計で198億シェケルとなった（前年同期は73億シェケルであった）。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

※参考：5月期のシェケル相場

対日本円：	1.7%安
対米ドル：	0.9%安
対ユーロ：	0.7%安
対ポンド：	2.6%高
対イスラフ：	0.5%安

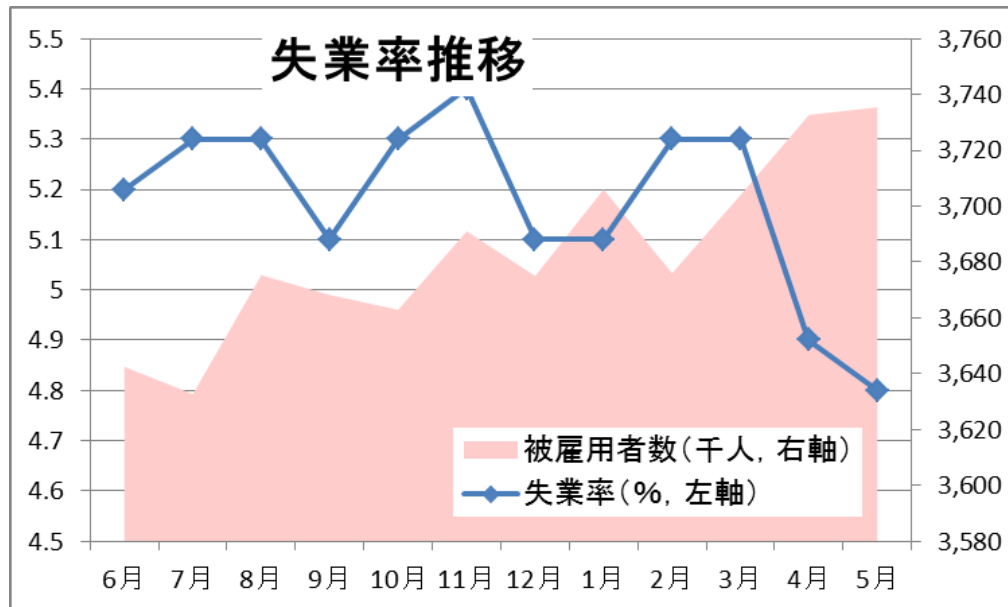
(出典：イスラエル中央統計局、報道)

4. 失業率推移

- 5月期の失業率，さらに下がって 4.8%

中央統計局は、2016年5月期の失業率は、ここ数十年で初めて5%を切った4月期から更に下がり、4.8%になったと発表した。

2016年5月時点で、15歳以上の労働人口392.5万人のうち、就労者は373.5万人、失業者は19.0万人。就労者のうち男性は196.6万人で、4月期の195.9万人から増加。女性は176.9万人で、4月期の177.4万人から減少している。



(出典：イスラエル中央統計局、報道)

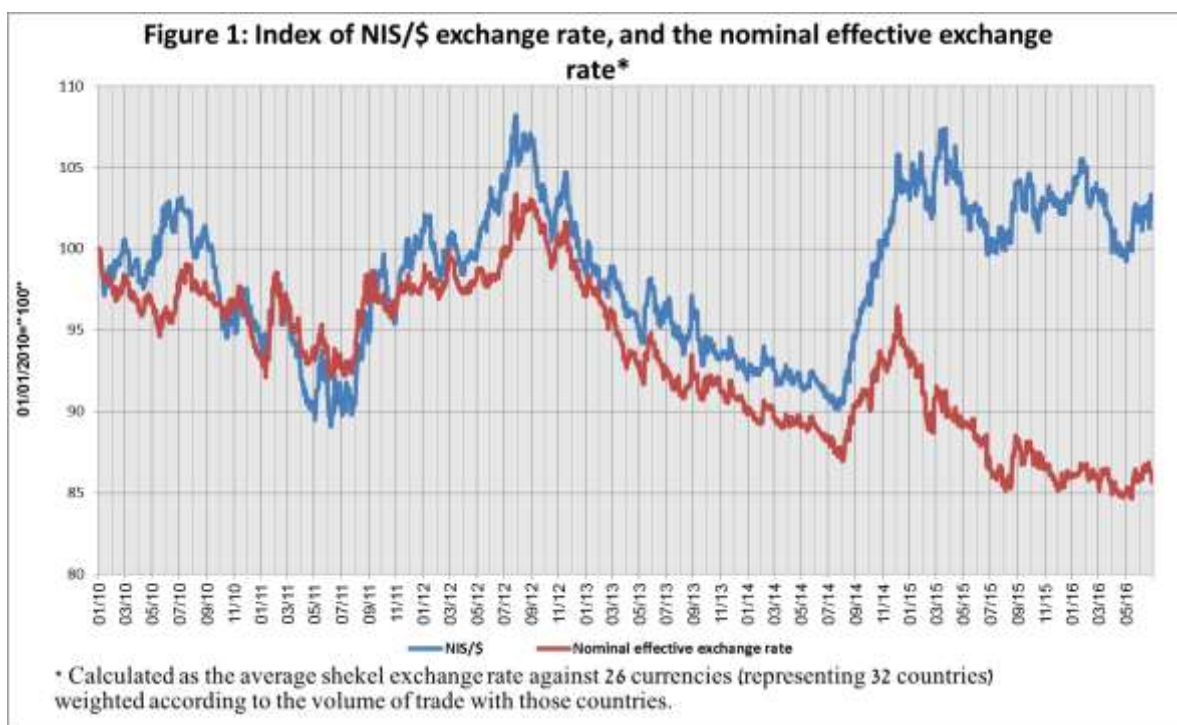
5. 為替推移

- 世界のドル相場が強弱混在する中、シェケル高へ

6月のシェケル相場は、対ドルで0.1%、対ユーロで0.3%上昇。名目実効為替レート（主要貿易相手国の通貨に対する加重平均レート）は0.1%のシェケル高となった。

世界的には米ドル為替レートが強弱混在。ドルは対ユーロ0.2%、対ポンドで8.8%上昇した一方、対円7.4%、対スイスフラン1.3%下落した。

シェケル為替レート（※—：対ドル， —：名目実効為替レート）



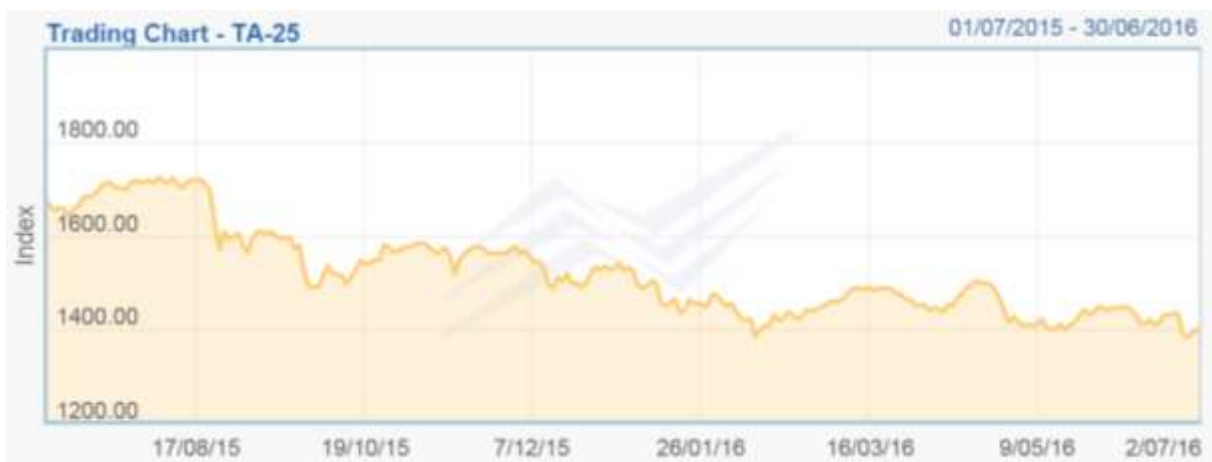
（出典：イスラエル中央銀行）

● 主要株価（TA25）推移

過去1か月間（2016年6月1日～6月30日）



過去1年間（2015年7月1日～2016年6月30日）



(出典：テルアビブ証券取引所)

当地報道（経済関連） 6月

（出典：報道）

- 1日 ハポアリム銀行のチーフ経済アドバイザー「イスラエルは不景気の直前にいる」と発言。第一四半期の記録的低成長は、第二四半期でさらに深刻になりそうだ。
- 1日 シュガーレス製品の売上げが急増。3年減少してきた無糖・低糖製品の売上げが伸びている。国内最大の食品小売スーパーソルが最初にこの傾向に気付いた。
- 3日 エルサレムライトレールが容量を2倍にする。2年にわたる議論を経て、運輸省と財務省が合意。30億NIS規模の開発で、早くとも2020年前半まで掛かる予定だ。
- 3日 レウミ銀行が希望退職700人。昨年12月に発表したコスト削減施策の一環として行うもの。退職希望者には、最大2.7倍の退職金を支給する。
- 3日 政府は、リバイアサン天然ガス田の開発を承認。イスラエルで二つ目の大規模ガス田であり、これによりイスラエルはガスの輸入国から輸出国に転じると見られる。
- 6日 食品表示が変わる。カロリー、糖質、脂質等の健康に悪影響を与えるものが強調表示される。政府主導ではなく、消費者の健康志向を踏まえた産業界の自主的な取組。
- 7日 イスラエル人は乳製品が好きとの調査。31%の人は月400NIS以上乳製品を購入。女性の方がより多く買う傾向あり。年間を通じて乳製品を購入しない人は3%。
- 7日 テルアビブ-ドイツ便が増える。ルフトハンザがフランクフルト週1便、ミュンヘン週2便を、ゲルマニア航空がデュッセルドルフ週1便を、それぞれ増便する。
- 8日 米国系VCアクセルパートナーズ、テルアビブにオフィスを開設。パートナーのブルムベルガー氏は、イスラエル生まれでFacebook社の企業開発を手掛けた人物。
- 9日 テルアビブ市は、Car2Go社と提携して独自の住民向けカーシェアリングサービスに力を入れる。2017年下半年から小型車260台で開始予定。予算は2,600万ドル。
- 9日 独禁委のハルペリン新委員長、議会金融委で「価格統制は非効率」と発言。食品や一部独占業界でのイスラエルの伝統的手法を批判し、競争性導入の重要性を訴えた。
- 9日 テルアビブ市、9月に「中国・イスラエル投資サミット」を開催。北京で開かれた第一回サミットの成功に続き、DLDカンファレンスと時期を合わせて行われる。
- 10日 経済停滞の中でも税収は順調。財務省は5月期の税収が前年比13.7%上昇と発表。過去1年で5.7%上昇した計算。ただし、政府支出も1-5月期で前年比7.5%増。
- 10日 携帯キャリア再編。大手セルコム社によるゴランテレコム買収が独禁委に禁じられ、ゴランはホットモバイル社のインフラを用いて独立キャリアとして存続見込み。
- 10日 BP及びエニ社、エジプト沖に新ガス田を発見。推定産出量70-80BCMと大型で、ゾホールガス田に続き、イスラエルの見込み顧客との関係に影響を及ぼしそうだ。
- 15日 欧米投資会社がイスラエルのクレジットカード会社の購入に意欲。政府の競争性強化政策の一環で、ハポアリム銀行とレウミ銀行がカード部門の売却を検討中。
- 15日 元Google CEO エリック・シュミット氏「イスラエルは“スタートアップ国家”を超えて成熟しつつあり、世界の技術イノベーションに大きな役割を果たしている」。
- 16日 中銀フルグ総裁、一般家庭への貸付急増に警告。経済成長が減速する中、超低金利と低失業率の一方でも失われれば、返済不能となる者が急増するとの懸念を示した。

- 16日 イスラエルへのサイバー攻撃, この4年で数百件~数千件/日から200万件/日へ。テルアビブ大ベン=イスラエル教授「インフラが狙われているが, 守りは万全」。
- 16日 中央銀行, “第三の銀行”づくりに興味。競争性確保に向け新規参入を促しているが, ハポアリム銀行とレウミ銀行の二強体制打破には中堅銀行の統合が望ましいと暗示。
- 17日 シュタイニッツエネルギー相が, ヘルツェリア会議で「新たなガス田の探索を認可すべく準備中。9~11月に“新システム”による許可が可能になるだろう」と発言。
- 17日 ハイテク部門の低調ぶりにも関わらず, 6月上半期だけで国内のスタートアップが3.56億ドル調達。道案内 WalkMe や画像認識 Trax, ストレージ Waka.IO など。
- 17日 中央統計局は, 第一四半期の経済成長を上方修正。先月の推定値0.8%から, 1.3%まで引き上げた。更に, 昨年第四四半期の経済成長も0.3%引上げ3.4%に。
- 21日 技術者不足を解決するため, 単科大学改革が計画。現在国内に約50ある技術系単科大学の活動を4-6の「スーパーカレッジ」に集中させ, 規制も一元化する。
- 22日 財務省は来年から「子供貯蓄プログラム」を始める。18才未満の子を持つ親は, 国民保険協会等に毎月50NIS積立て, 子供は18才になったら進学又は起業に用いる。
- 22日 携帯キャリア2位 Partner 社, 光ケーブルTVの提供を検討中。通信省に申請済。Orange名を手放し, 第一四半期の利益は去年の2500万NISから1400万NISに。
- 27日 Brexitの影響で, テルアビブ証券取引所の株価は下落。財相や首相は当地経済への影響は最小限に留まるとの見方を示したが, 全体は3.2%, 銀行株は4.3%落ちた。
- 27日 閣僚会合は年6日, 連休を作るために日曜を休みにすることを承認。「イスラエル人は週43時間働いており, OECD平均の40時間と比べ働き過ぎである。」
- 27日 テルアビブ大学で開発された「電子タトゥー」が, 皮膚を通じて体内の電気信号を記録することを可能とし, 診療やリハビリの大幅な改善に役立つ可能性がある。
- 27日 ネタニヤフ首相がトルコとの国交正常化合意に署名。イスラエルの天然ガスをトルコ経由で欧州に販売するためのパイプライン建設につき, 正式な交渉が開始される。
- 28日 中銀は公定歩合を据え置き。財務省や首相は「Brexitが当地経済に直接の大打撃を与えることはない」としたが, 中銀は成長予測を2.8%から2.5%に引き下げた。
- 28日 イスラエル有価証券機構は, テルアビブ証券取引所の取引高を増大させる取組として, 取引に対する税を軽減すべきだと提言。同機構が同種の提言を行うのは初めて。
- 29日 議会はカツ運輸大臣による自動車ライセンス法案を可決。自動車の公式輸入者は並行輸入品についても同様の保証を行うことが求められるようになる。
- 29日 シスコが, サイバーセキュリティ企業 CloudLock を2億9,300万米ドルで買収。シスコはハポアリム銀行とフィンテック分野での協力覚書を結んだばかり。
- 29日 OECDのライフスキル調査でイスラエルは低評価。一部の高度人材はいるものの, 大部分はOECD平均を下回り, 読解能力では34カ国中28位であった。
- 30日 トルコとの関係改善が合意したが, 防衛産業は過去の緊密な関係がすぐに戻ってくるか懐疑的だ。信頼ある関係を取り戻すには数年を要するだろうと見られている。
- 30日 税当局がウィークリーマンションを狙い撃ち。Airbnb や Booking 等のサイトで短期アパートを提供する家主の33%が, 収入を適切に申告していないことが明らかに。
- 30日 クラウドファンディング OurCrowd が, 農業分野に特化したアクセラレーターファンド Radicle の設立を発表。1,500万ドル規模で, イスラエルと米国に拠点を置く。

日本-イスラエル 経済関係

(出典：各社等発表)

ドコモ、動画配信プラットフォーム SUNDAYSKY 社に投資 (6月3日)

NTTドコモ・ベンチャーズ(本社：東京都港区、代表取締役社長：榮藤稔)は、動画コンテンツをブランド(企業)に合わせてパーソナライズする技術を有するイスラエルの SundaySky 社(本社：テルアビブ、CEO：Shmulik Weller)に出資を行った。

SundaySky Ltd.は大規模な消費者を顧客に持つクライアント向けに、顧客のライフサイクルステージ(購入前、購入後など)や顧客データベースに基づき、適切な「One to One」な動画(スマートビデオ)をリアルタイムに配信できるプラットフォームを提供する。

<https://www.nttdocomo-v.com/p2282/>

イスラエルで日本食紹介イベント、和歌山県などがPR (6月7日)

日本食や日本産食材のPRのため、日本大使公邸(ヘルツェリア)において日本食普及イベント「寿司酒三昧」が開催された。和歌山県や岐阜県高山市などが名産品を出展し、計12ブースで約80種の日本産食材が提供された。

イスラエルのレストラン経営者やシェフなど約100人が招かれ、日本人シェフによる伝統的な寿司の握り方や、しゃぶしゃぶの食べ方のレクチャーなども行われた。

第2回「日イスラエル経済政策対話」開催 (6月8日)

日本経済産業省とイスラエル経済産業省は、二国間の更なる経済関係強化に向けた意見交換を行うため、第2回「日イスラエル経済政策対話」を開催した(第1回会合は昨年7月)。

本会合において、両国間の投資・貿易促進に向けた方策、ベンチャービジネス、研究開発(R&D)、サイバーセキュリティ分野における協力など、昨年に引き続き幅広い分野で意見交換を行うとともに、来年東京で次回会合を開催することで合意した。

<http://www.meti.go.jp/press/2016/06/20160613003/20160613003.html>

アズジェント、ILLUSIVE NETWORK 社製品の取扱いを開始 (6月8日)

セキュリティ及び運用管理ソリューションの提供を主業務とする株式会社アズジェント(本社：東京都中央区、代表取締役社長：杉本隆洋)は、Illusive Networks Ltd.(本社：テルアビブ、CEO：Shlomo Touboul)のサイバー攻撃対策ソリューション「illusive」の取扱いを開始した。

「illusive」は、米国 RSA Conference でも注目を集めている「Deceptive」コンセプトの商品で、ネットワークを巨大な迷宮にすることにより、重要情報の漏えいを防ぐ新しいタイプのサイバー攻撃対策ソリューション。

<https://www.asgent.co.jp/press/releases/2016/20160608-000964.html>

ソニーエンタメ, INTERLUDE 社に投資 (6月16日)

ソニー・ピクチャーズエンタテインメント (本社: 東京都港区, 代表取締役: 滝山正夫) は, イスラエルの音楽家ヨニ・ブロッホ氏が設立した Interlude 社に戦略的投資を行った。Interlude 社は, 利用者の選択を踏まえて好みにあった動画を生成する「インタラクティブ・ミュージック・ビデオ」の技術を有する。

<https://interlude.fm/company/press/press-releases>

第2回「日イスラエル・サイバー協議」の開催 (6月21, 22日)

6月21, 22日, テルアビブにて, 第2回「日イスラエル・サイバー協議」が開催された。2014年5月の日イスラエル首脳会談における共同声明を踏まえ, 同年11月に開催された第1回日イスラエル・サイバー協議のフォローアップを行うとともに, サイバーセキュリティ, 重要インフラ防護, サイバー犯罪, サイバー空間におけるルールや規範の形成といったサイバー問題における政府の取組や戦略, 両者間での協力の可能性等について議論された。

日本側からは, 水嶋外務省総合外交政策局審議官兼サイバー政策担当大使を筆頭に, 内閣官房 (国家安全保障局, 内閣サイバーセキュリティセンター, 内閣情報調査室), 警察庁, 総務省, 経済産業省, 防衛省を含む幅広い政府関係者が出席した。イスラエル側からは, マタニア首相府国家サイバー局長を筆頭に, 外務省, 経済産業省, 国家警察等から関係者が出席した。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/me_a/me1/il/page22_002638.html

展示会・国際会議の今後の予定

※詳細情報を希望される場合は御連絡ください。

※日本からお越しになる方には、現地企業との個別アポイント等、各種サポートをさせていただきますので、まずはお問い合わせください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

CANN10（9月11～13日、テルアビブ）

医療用大麻に関する国際会議。主として①医療/科学、②農業/遺伝学、③技術/商業/起業家の3つの分野をカバーする。医療用大麻分野での専門家同士のネットワーキングの場となり、新たなビジネス機会を提供する。

<http://canntencon.com/>

DLD CONFERENCE TEL AVIV（9月27～28日、テルアビブ）

イスラエル最大のハイテク国際会議。世界のスタートアップ、VC、エンジェル投資家などが参加。

<http://dld-conference.com/DLDTelAviv16>

BANK INNOVATION TEL AVIV（11月1～3日、テルアビブ）

フィンテック分野の国際イベント。イスラエルにはフィンテックスタートアップが400以上あると言われ、バークレイズやシティバンク等もイスラエルにR&D拠点を置いている。ビッグデータ技術を活用したイスラエルのフィンテックの最新状況をプレゼン。

<http://bankinnovationisrael.com/>

ISRAEL HLS & CYBER CONFERENCE（11月15～16日、テルアビブ）

イスラエル輸出・国際協力機構が、経済産業省、国家サイバー局などと共催する、ホームランドセキュリティとサイバーセキュリティに関する国際会議・展示会。来場者数3,500～4,000（うち海外1,500）、出展者150～160が見込まれている。

<http://www.export.gov.il/eng/Branches/Technologies/DefenceIndustries/HLS2016ConferenceHLS/HLS2016AbouthsENG/>

ISRAFOOD 2016（11月29日-12月1日、テルアビブ）

イスラエル最大の食品・飲料産業の展示会。製造メーカーと輸入事業者のビジネスマッチングを目的としている。「イスラエルフード&ホスピタリティウィーク」イベントの一貫。

http://www.stier.co.il/israfood/index_en.asp